

やってみたい活動、見つけませんか！

20年度 市民の会 「会員募集の説明会」3月18日開催

麻生まちづくり市民の会はいよいよ3年目・最終年度を迎えます。各活動とも成果を出すための努力を加速させています。意欲と関心がある市民のみなさんに活動の仲間になっていただくため、会員募集の説明会を開催します。(3月18日(火)18時30分～ 区役所4階会議室)

説明会では市民の会の活動を理解していただくために、活動報告会を同時に行います。パネル展



示やスクリーンを使って映像で紹介するなど興味ある活動紹介の場になると思います。ぜひご参加下さい。(写真は第1期市民の会で開催された区民の集いの全体活動発表会)

〔市民活動支援部会〕

講座企画運営小委員会

「地域デビューへの招待状」3回シリーズを開催しました。

相談窓口小委員会

「活動の場」「市民活動団体」紹介のためのデータ

収集と整理を行いました。現在、麻生市民交流館やまゆりの相談窓口業務で活用されています。(毎木曜日14時～17時)

〔まちづくり推進部会〕

麻生まちづくり学校小委員会

「防災」をテーマに5回講座を実施しました。

地域まちづくり支援小委員会

麻生区の地域防災の現状を学習しました。モデル町内会での実施をめざしています。

あさお落書き消し小委員会

新百合ヶ丘駅周辺の落書き消しを1回実施しました。出前落書き消し(各地域に出張し、共に落書き消しをし、ノウハウを提供)も2回実施しました。

地域通貨の導入小委員会

麻生区に地域通貨の導入をめざし、先進事例を学習しています。

麻生ヤマユリ植栽普及小委員会

「里山から庭先へ」をキャッチフレーズに、ふるさと麻生の象徴、ヤマユリ植栽のノウハウを蓄積し、普及を目指しています。

宮前区と協働で「落書き消し」

「花と市民参加の会 コスモス」からも落書き消し

まちづくり推進部会

落書き消し小委員会

今年に入って2件の出前落書き消しの要請が



ありました。

1つは、市民グループ「花と市民参加の会 コスモス」から王禅寺西5丁目地区、グリーントウンとの境の400メートルにある落書き消しの要

請です。2つ目は、宮前区役所からヨネッティ前のコンクリートの壁面(写真)の落書き消しを協働でやりませんかとの打診がありました。麻生区内だが宮前区の建設センターの管理区域とのことで

す。宮前区の落書き消しメンバーと現地を確認し打ち合わせを行いました。

その結果に基づいて3月9日10時から作業を行うことになりました。

麻生まちづくり学校小委員会

小委員会は2008.1.21(月)午後開催。
2007年度の本校講座は12月の第5回を以っ



て終了しましたが、参加者の反省やご意見を次に生かすために、公募メンバーの希望者の方にご参加いただき、今年度の取りまとめと、これからのまちづくり学校や麻生まちづくり市民の会への課題などについて小委員会としての取りまとめを行いました。

2月18日は、まちづくり学校の来年度の課題について検討しました。また次回(3月17日)は防災まちづくりの先進実施例の現地見学を予定しています。

里山から庭先へ

消えつつあるヤマユリの再生活動

麻生ヤマユリ植栽普及小委員会

活動再開 “ヤマユリの咲き誇る麻生・柿生の里山の美しさ、その香しさは、その景観を知るものにとって、何ともなつかし口マンだよ”と、土地の古老が語ります。

5年前「まちづくり市民の会」で始まったヤマユリ再生活動も、ヤマユリの生育条件の特異さと植栽環境の不備などから、昨年度は休止してしまいました。こうした諸事情の中で、去る12月、一時は消えかけたヤマユリ再生・復活の火を灯し続けたいとの思いが「まちづくり市民の会」の有志によって、再結集され、「麻生ヤマユリ植栽普及小委員会」として再スタートしました。

活動のねらいは、消えつつある“ふるさと麻生を象徴するヤマユリ”の植栽活動を、“里山から庭先へ”をキャッチフレーズに促進・支援し、ノウハウの蓄積・普及を推進しようとするものです。

そして、このヤマユリ植栽活動を通して、地域のみなさんの心の輪が広がり・絆がより深まることを期待しています。

スタート直後の昨年12月、ヤマユリを、ボランティア組織「木こりの会」のみなさんと 化粧面谷公園と 籠口ノ池公園に、そして、「かわさき自然と共生の会」のみなさんと 「岡上梨子ノ木緑地」に、協力して楽しい植栽活動(写真)を行いました。さらに 授産学園などの緑地にも植栽しました。



植栽活動の様子

「ヤマユリ鉢植え講習会」の開催

また、去る1月20日には、“里山から庭先へ”をねらって「ヤマユリの鉢植え」実技講習会を、麻生区役所を会場に開催。

それに先だって、われら委員は、県立フラワーセンター大船植物園においてヤマユリの植栽技術の研修。その生育特性に我ら全員が目から鱗。

ヤマユリの球根は、5、6年もすると消滅し、種子や小芋のような木子（きご）で子孫をつなぐ植物であること。そして養分の少ない荒れ地に育つ強い植物であること。しかし湿気に弱く暑さに弱い。ウィルスにも弱い。種を蒔いて花が咲くまで4、5年かかること、などなど。

このようなヤマユリの特性を理解すれば、鉢植えでも栽培できることなど、多くの知識と技術を学びました。

その貴重な体験を伝達する鉢植え実習講習会。しかも、開催計画から実施まで短期間であったため参加者数を危惧しましたが、お陰様で定員30名を大幅に超える50名近い参加者でした。

参加者からは「ヤマユリの特徴がよくわかった」「どのように育つか楽しみ」「種や木子でも育てていたい」など、共に学びながらの実習を大いに楽しんでいただけたようです。

来年度は、ヤマユリの増殖技術の講習会も開催したいと、委員一同、意を強くいたしております。

ご関心のある方は、事務局にご連絡ください。

市民活動支援部会

1月・2月の部会では、部会活動の報告・検討に加え、川崎市の「新実行計画」(平成20年3月策定予定)について簡単に学習しました。

市民の会の活動が「新実行計画」の政策のどの部分に位置づけられるのかなど、これからの基本方向を知り、施策と部会活動テーマ及び方向性との整合性を確認するために事務局の説明を受けました。

つづいて、2月中旬に実施される20年度の企画審査に提出する2小委員会の企画案を検討し訂正などを含めた最終案を提出することが承認されました

講座企画運営小委員会

今年度「地域デビューへの招待状」3回シリーズは、地域デビューしたい参加者の半数近くが幸せな出会いに恵まれ、地域デビューしました。また、この講座をきっかけにして活動団体と私たち部会との交流が育まれつつあり、今後は楽しみです。

20年度企画案は、「地域デビューへの招待状」を毎年開催する企画として定着させることを目的とします。そこで、今年度講座を改善し、地域デビューしようという人と市民活動団体の「出会いの場」をさらに多彩に企画しました。体験コーナ



ーやアトラクション(写真:19年度「地域デビューへの招待状」で披露されたバリダンス)での団体発表、そして展示コーナーなど、これから地域で何かをしたいと思っている人たちの判断材料になる情報をわかりやすく提供する内容になっています。

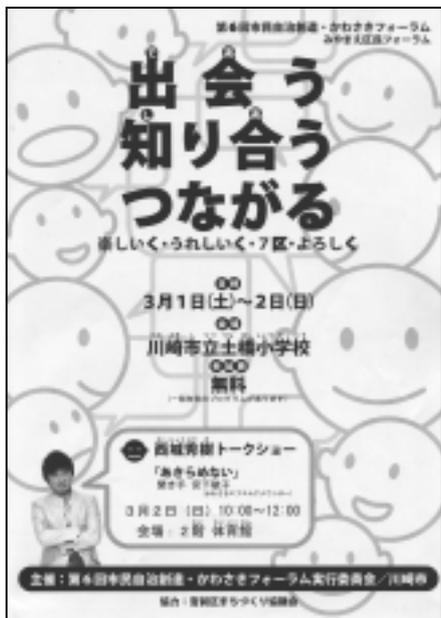
相談窓口小委員会

今年度は、やまゆり登録の市民活動団体の内、一般市民に情報を公開できる団体150余団体のデータをファイリングしました。そして、活動の場のリストとともに、あさお市民活動サポートセンターに引継ぎ、現在はやまゆり相談窓口で相談者に情報提供されています。

20年度企画案は、「市民活動で求められる人材育成の発掘・調査」をテーマに取り組みます。町会・自治会をはじめとする各種活動団体主催のイベント、セミナーなどで求められるプレーヤー、講師の情報収集と登録要請をします。また、各公共施設などですでに整備されているデータなども取り上げ、整理・統合します。そして、これまでのデータ同様、サポートセンターにバトンタッチします。

「出会う 知り合う つながる」に市民の会参加

第6回市民自治創造・かわさきフォーラム
6回を迎えるかわさきフォーラム。今年は宮前区鷺沼プール跡にできた「地域開放型」の小学校を会場にして3月1～2日に開催されます(写真は開催パンフレット表紙)。タイトルに象徴されるように、宮前区の区民フォーラムも同時開催、また各区の区民会議の取り組みを紹介、意見交換の場が設けられるなど、これまで以上にさまざまな組織との積極的な連携が意図されています。



市民の会も参加し、活動成果をアピールします。2面でも報告したように、「落書き消し」活動は宮前区からの依頼で、協働で活動するなど広がりを見せています。このフォーラムがきっかけで各活動がつながりを持てるよう願っています。

テーマは"災害について"

麻生区中学生交流会「区長と語ろう」
紅梅の甘い香りが漂う2月16日(土)第6回中学生交流会[区長と語ろう]が市民交流館"やまゆり"で開催されました。参加は区内8中学校(麻生中・王禅寺中・柿生中・金程中・白鳥中・西生田中・白山中・長沢中)今回のテーマは"災害について"です。近い将来に地域社会で中心的な存在となる中学生が自分の意見や考えを伝え、話し合い、対話を通してコミュニケーションを学ぶこの企画では、中学生達が冷静に麻生区を観ている事に驚かされます。"災害時に中学生として何をしたらいい

か?何をしたいか?"日頃から考えている事やこれから考える事が話し合われました。中学生からは



高齢者など援助を必要とされる方たちへの気づかいの意見が多く出されました。区長への質問や意見も活発に出され、区長の熱心な説明で会場の災害対策意識も高まりました。区長からのコメントにもありましたが、大切なのは"日頃から地域の人とあいさつを交わして親しくなること"です。私達も「助け合える地域づくり」を心がけようではありませんか!!

今後の予定 (どなたでも傍聴できます)

- まちづくり市民の会運営委員会: 3月10日(月)18時30分から
- 市民活動支援部会: 3月5日(水)18時00分から
- まちづくり推進部会: 3月3日(月)18時30分から

編集後記

「梅は咲いたか、桜はまだかいな.....」と、春の訪れが待ち遠しいこの頃です。
市民の会は、2期最終年度を迎えます。「君のために明かりを灯せば、我が前明らかなり」の互助の精神で活動してきましたが、果たして手応えは.....?最後の1年間で答えを見つけるのは困難でしょうが、市民の会は市民による自主的な組織を目指すのが目的なので、力を付けていきたいと願っています。(ST)